

2016年度 資産運用方針（上半期）

2016年6月3日



資産運用の状況

- 足元の低金利環境を受け、リスク性資産(国内株式・外国証券)への投資を引き続き拡大。
- 負債コストの比較的高い契約の消滅により平均予定利率が低下したことから、利差益は安定的に推移。

資産構成

(億円、%)		15.3末		16.3末	
		金額	占率	金額	占率
公社債		642,947	75.7	598,210	73.4
国債		480,864	56.6	441,786	54.2
地方債		95,558	11.3	94,054	11.5
社債		66,524	7.8	62,369	7.6
リスク性資産		33,631	4.0	54,016	6.6
国内株式 ¹		9,969	1.2	12,025	1.5
外国株式 ¹		2,145	0.3	2,294	0.3
外国債券等 ^{1,2}		21,516	2.5	39,697	4.9
貸付金		99,773	11.7	89,784	11.0
その他		72,797	8.6	73,440	9.0
うち現預金・コールローン		26,592	3.1	22,226	2.7
うち債券貸借取引支払保証金		27,208	3.2	30,085	3.7
総資産		849,150	100.0	815,451	100.0

1. リスク性資産には、金銭の信託で運用している資産を含む
2. 外国債券等には、その他の証券に分類される投資信託を含む

順ざや・利回り

	(億円)	
	15.3期	16.3期
順ざや	669	974
平均予定利率 ¹	1.80 %	1.76 %
利子利回り ²	1.89 %	1.90 %

キャピタル損益	641	44
---------	-----	----

	15.3末	16.3末
円金利(10年国債)	0.400 %	△ 0.050 %

1. 平均予定利率は、予定利息の一般勘定経過責任準備金に対する利回り
2. 利子利回りは、基礎利益上の運用収支等の一般勘定経過責任準備金に対する利回り

資産運用の多様化・高度化

- インカム性が高く、現在保有する資産との分散効果が期待できるミドルリスク・ミドルリターン領域の資産を中心に運用対象を拡大。

現在の運用対象と今後の拡大領域

ハイリスク
ハイリターン

現在の運用対象

新興国株式
先進国株式

今後の拡大領域

PE

ミドルリスク
ミドルリターン

今後の拡大領域

ハイブリッド証券

ハイイールド債

インフラ

バンクローン

不動産

マルチアセット型運用

ローリスク
ローリターン

現在の運用対象

外国国債

外国社債

公共債

社債

- オルタナティブへの投資
 - － 信用リスクテイクの拡大
 - － 第一生命との成長分野への共同投資を開始
 - － インフラ、不動産、PEへの投資を検討
- 株式のインハウス運用
 - － 高配当銘柄を中心

債券等

株式

オルタナティブ